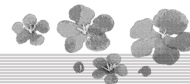


よみきかせだより

NO.8



とっても素直な1、2年生。真剣な眼差しの3、4年生。高学年らしく静かに、そしてしっかりと耳を傾けてくれる5、6年生。一年間同じクラスを担当したことで、子どもたちとの距離が縮まり、ちょっと仲良くなれた気がします。みんなみんなめんこいな～(*´▽`*)

感謝の会で素敵な
お花をいただきました



2/2にお招き頂いた感謝の会では、全校児童で作られたアーチをくぐりながら退場する際に「ありがとー！」の声をもらったりハイタッチをしたりと、ちょっぴり恥ずかったけど「読み聞かせボランティアをやってよかったなあ」と心が温まりました。



児童の皆さん
ありがとう

読み聞かせの会は来期で14年目を迎えます。これまで活動を続けてこれたのは、先生方のご理解と温かいご支援のお陰と、楽しみにしてくれている児童の皆さんがいたからです。読み

「大人がたのしむ読み聞かせ」

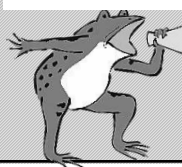
多数のご参加、ありがとうございました

“大人が大人に絵本を読む、読んでもらう。”

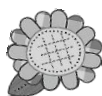
どちらもちょっぴり気恥ずかしい感じがしますが、「読み聞かせの楽しさを感じて欲しい」という思いから、今回で二度目となる実演を行いました。

読み聞かせの会では、読み終えた後に子どもたちの心が青空のようになることを願いながら読んでいます。今回参加された保護者の方々の心も、そんな風になっていたら嬉しい限りです。

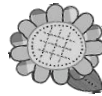
短い時間でしたが、おつきあいいただきありがとうございました。



来年度のよみきかせも
おたのしみに!



ひまわり学年の皆さんへ



「絵本を通して伝わることもある。絵本だからこそ伝えられるものがある」と信じて、仕事の都合をつけながら読みボラを続けてきました。みんながひとつの絵本にじっと見入ってくれる姿がほほ笑ましく、またどんどん成長していく姿をみることもでき、とても幸せな時間でした。6年間ありがとう！（F）

ひまわり学年のみなさん、ご卒業おめでとうございます。6年間で大きくたくましくなったみなさん。読み聞かせを聞いてくれている時の瞳は、出会った頃のキラキラした瞳のままです。一緒に過ごした朝のひと時を、絵本と一緒に思い出してくれることがあったら嬉しく思います。（N）

この本、知ってる？

『そばかす先生のふしぎな学校』

改訂新版

ヤン・ブジェバ（作） ヤン・マルチン・シャンツェル（絵） 内田 莉沙子（訳）：学研プラス



グレス先生はふしぎな先生。学園の庭には童話への扉があったり、寄宿舎のシャワーは日替わりでレモンやイチゴのジュースが出てくる！ ポーランドのファンタジー童話。<児童書・高学年向き>

『幸福の王子』

オスカー・ワイルド（原作） 原 マスミ（絵・抄訳）：ブロンズ新社



やさしい心を持つ金色にかがやく王子の像。つばめは命をかけて王子の願いをかなえます。「本当の幸せってなんだろう」「人を大事にできるようになりたい」そんな風に思える絵本です。

『ふたつの島』

イェルク・シュタイナー（作） イェルク・ミュラー（絵） 大島 かおり（訳）：ほるぷ出版



大きな島では人間の欲望から次々に島の自然が壊され、小さな島では人間が自然と共存しながら生きている。ふたつの島の末路は…。全ページ絵画として成り立つほど美しい絵本です。

春になったら
はじめてみませんか？



読み聞かせボランティアは
子どもと本のかけ橋

「読みボラ」
随時募集中

担任の先生を通してお申し込みください